

しんすえ

平成27年7月29日発行

茨城県民間保育協議会 青年部広報誌 「礎」 第36号

部長挨拶

茨城県民間保育協議会青年部

(国分台ふたば保育園)

部長 柳澤 克彦



平成二十七年度の茨城県民間保育協議会青年部仰せつかりました柳澤と申します。

今年一年間、よろしく願い申し上げます。

新しい制度も始まり、今後保育業界では、さまざまな変革を求められてきます。私達、後継者となる立場として、これから時代の過渡期に準じて、保育園運営を携わって行かなければなりません。この青年部としても、多くの次世代を担う若人が集まり、未来を担う全ての子ども達のために最善の利益を求め、保育を学び、語らい、自己の成長を求め、共に活気あふれる活動をして行きたいと思えます。また、歴代の先輩方に尊敬の念を持ち、新しい仲間も集い、伝統のある茨城県民間保育協議会の青年部として、運営して行きたいと思えます。また、部員の加入ですが、各加盟園で青年部に加入される方がいらっしゃいましたら、いつでも加入が可能ですので、よろしくお願い申し上げます。

今年度は、社会福祉法人日本保育協会の第三十七回日本保育協会関東地区保育者研修会及び関東地区女性部合同研修会と第四十四回公益社団法人全国私立保育園連盟関東ブロック研究大会茨城大会ブロック大会に青年部としても、この貴重な機会を充実できるように、部員一丸となってご協力させて頂きたいと思えます。

また、青年部には、例年活発な活動をしている委員会があります。調査研究委員会、広報委員会、研修委員会、渉外委員会、特別委員会と5つの委員会があり組織されております。また、社会福祉法人日本保育協会青年部、公益社団法人全国私立保育園連盟青年会議にも茨城県代表で副部長が中心となって中央出向していただき、全国の情報の共有に務めていただいております。それぞれ事業を展開し、多くの方々のご尽力をお願いし、今年一年間、青年部の活動にご理解ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

茨城県民間保育協議会青年部副部長

日本保育協会担当 堀 信晋



(日の出こども園)

今期、副部長を務めさせていただきこととなりました。潮来市にある日の出こども園の堀信晋と申します。皆様どうぞよろしくお願い致します。今期は柳澤部長のもと活発な青年部活動ができる様頑張りたいと思えます。さて、今年度から子ども・子育て支援新制度が始まり、各園新制度への対応に追われているかと思えます。そして、社会福祉法人制度改革も活発に議論され今後の動きにも注目しなければなりません。

しかし、制度が大きく変化する時代だからこそ、私たちの園の中心にあるのは「子ども」であり、制度に振り回される事なく目の前にいる「子ども」の成長を支える事を忘れてはいけなく考えます。私たち若手経営者はこれからの自園をどのようにしていくのか、今後自分自身がどのように行動していくのか決めていかなければなりません。未来を語り、分からないことは先輩方にも聞くことができる青年部の活動にはそのヒントがたくさんあると思えます。積極的に参加をしていただき青年部らしく活動していきましょう！

茨城県民間保育協議会青年部副部長

私立保育園連盟担当 萱場 祐友



(ミーム保育園)

平成27年度より青年部副部長(私立保育園連盟担当)を仰せつかりました小美玉市ミーム保育園の萱場祐友と申します。

いよいよ本年4月から保育界最大の制度改革といわれている新たな子ども・子育て支援システムがスタートし、「保育に欠ける」から「全ての子ども達」、「運営委託費」から「施設型給付費」となり、国の制度を理解することがこれまで以上に重要であると考えられます。さらには保育園から子ども・保護者・地域へより多くの情報を発信し、理解を得ていかなければなりません。

子ども達を取り巻く環境が変わろうとも、子どもの最善の利益を追求し、子ども達の幸せを願い、青年部として諸先輩方が作り上げてこられた実績を大切に、青年らしい活発な活動を行えるよう取り組んで参りたいと考えております。

今後とも皆様のご指導・ご鞭撻の程よろしくお願い致します。

委員長紹介

調査研究委員会

境いずみ保育園

菊地 渉



調査研究委員会は、県内様々な地域から集まった10名の委員により、県内の保育所（園）についての実態調査を行い、保育運営の向上に努める委員会です。今年度の調査研究のテーマは検討中ですが、長年継続して調査している保育料基準額表、前年度に引き続いて開催される「就活応援セミナー」のアンケート、その他委員会で内容を決定し、活動していこうと考えております。

次世代を担う保育者の育成、人員確保、認定こども園、モンスターペアレンツ、定員割れ・・・現状を取り巻く問題は山積みです。受け継がれてきた保育の思想を守りつつ新たな一歩を踏み出すために、アンテナを高く、広く張り巡らせていこうと思います。実りある調査研究のために、皆さまにお手数をおかけすることもあるかとは思いますが、ご協力よろしくお願いいたします。

研修委員会

泉ヶ丘保育園

渡辺 謙



今年度より茨城県民間保育協議会青年部の研修委員会委員長を務めさせていただき、泉ヶ丘保育園の渡辺と申します。子ども子育て支援新制度が本格的に動き出し、施設ばかりではなく、法人制度改革の議論がなされている昨今、保育に携わる者として、また一青年部員として、何を学び、そして何をすべきか・・・手探りの中ではありますが青年部活動を通して見つけていきたいと思っております。

私自身、初めての委員長なので至らない部分もあるとは思いますが、副委員長をはじめ8名の頼もしい委員の先生方と共に研修委員会を運営して参りたいと思っております。皆様今年度も何卒よろしくお願いいたします。

渉外委員会

清心保育園

清水 利春



今期、渉外委員会 委員長を拝命致しました清水利春と申します。今期の渉外委員会では主に青年部の活性化を図ることを旨とした事業を展開していきたいと考えます。組織の活性化の根底には、先ずは青年部メンバーお一人おひとりの青年部に対する積極的なコミットが必要不可欠だと感じています。以前に比べ、近年、メンバー間の関係が若干希薄になっているのではないかと感じる事があります。メンバー相互のより良い関係の構築をテーマに渉外委員会のみが考えた企画を実施するのではなく、メンバーの皆様からのニーズを把握し、それに答えながら、様々な企画を行っていききたいと思っております。メンバー間の「絆」がより強固になれば、青年部という組織自体が必ずや活性化し、私達が掲げる目標がより早く確実に達成出来るかと確信致します。最後になりますが、何卒、皆様からの温かなアドバイス並びにご協力をよろしくお願いいたします。皆様方の笑顔が溢れる最高の青年部にしていきたいと思います！

特別委員会

こばと保育園

安藤 伸泰



今年度より特別委員会委員長を拝命いたしました、安藤です。鹿嶋神栖ブロックこばと保育園で副園長をしております。

特別委員会では2年間に2テーマを挙げそれにとりまなう講習会や勉強会を行って行きたいと思っております。テーマに関しては委員内でいろいろと話し合ながら決めていきたいと思います。まだまだ、わからないことが多々ありますが2年間頑張りたいと思っておりますので皆様よろしくお願いいたします。

広報委員会

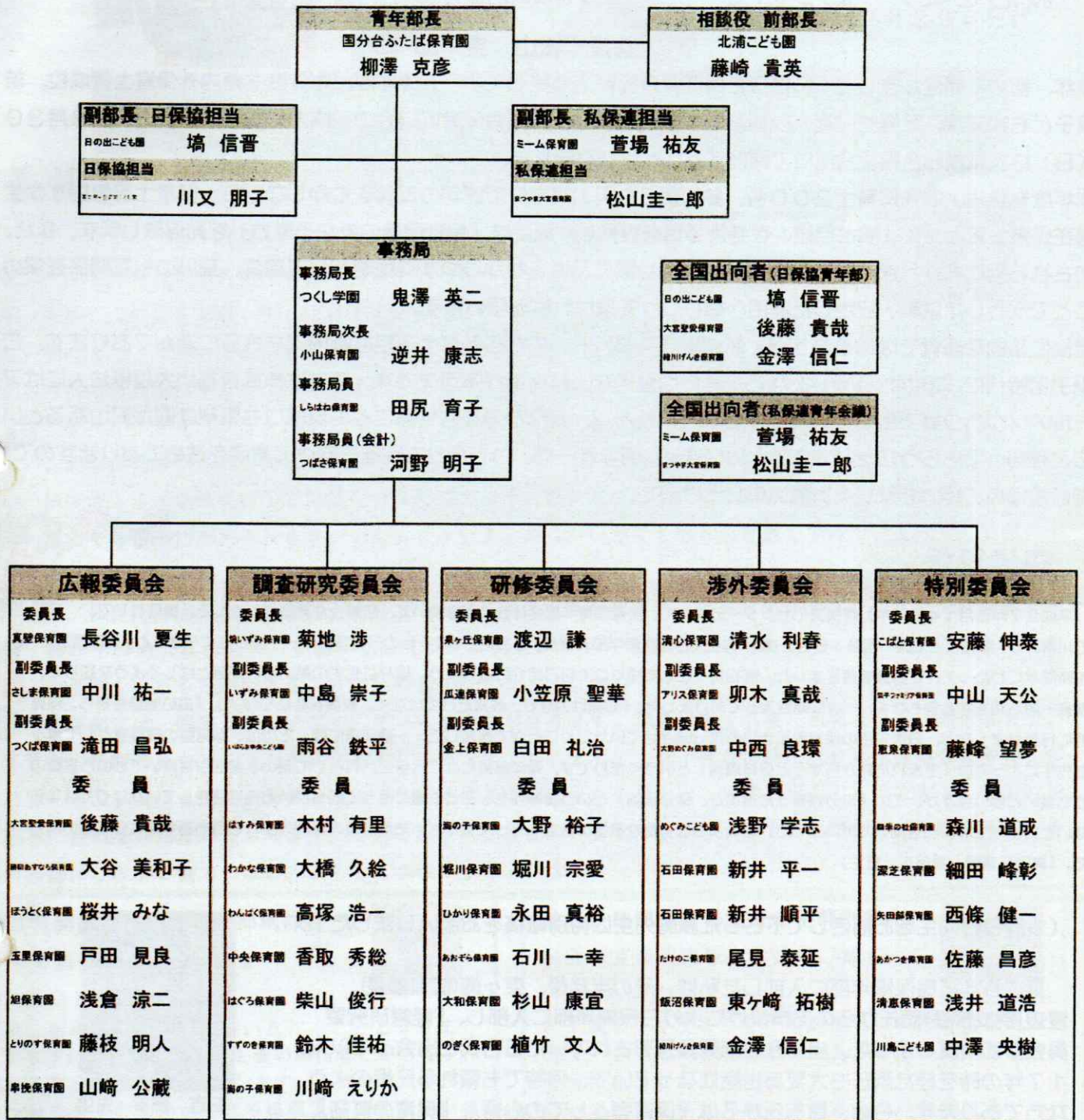
真壁保育園

長谷川 夏生



2年間「礎」の発行等を担当させていただきます長谷川です。この際「礎」という言葉を広辞苑で調べてみますとその意味は、「家屋や橋などの柱の下に据える土台石。根石。柱石。物事の基礎となる大切なもの。また、その人。」だそうです。各園におきまして多くの青年部員が果たしている役割というものを端的に表しているように思われますがいかがでしょうか。SNS、Eメール、ツイッター、ラインなど情報発信のあり方も多様化しておりますが、紙媒体の良さもまたあると思っております。「礎」の発行等を通じて多くの青年部員共通の思いや課題を共有し、園の運営にも活かすことができるようになればと考えております。

平成27年度 茨城県民間保育協議会青年部 組織図



青年部とは…

正式名称は「茨城県民間保育協議会青年部」です。茨城県民間保育協議会（いわゆる「親会」）の部会の一つで50歳未満の者で構成され、部員は各委員会に所属し青年らしい活動をしています。青年部長、副部長は、親会の理事に就任します。（以前は、青年部長が親会の副会長だった時代もあるそうです。）また、日保協青年部や私保連青年会議に出向する場合があります。認定こども園を含む新制度の施行や、社会福祉法人改革等、青年部の活動が益々重要になってくる時代なのではないでしょうか。

今後の予定

平成27年7月9日(木)・10日(金)

8月30日(日)

10月28日(水)～30日(金)

11月25日(水)・26日(木)

平成28年2月18日(木)・19日(金)

日保協第37回関東地区保育者研修会

及び 関東地区女性部合同研修会 ←無事終了しました！

いばらき民間保育園就活応援セミナー（茨城県総合福祉会館）

日保協全国青年保育者会議佐賀大会（佐賀県）

私保連青年会議徳島大会（徳島県）

第44回全国私立保育園連盟関東ブロック茨城大会（つくば市）

就活セミナーについて

まつやま大宮保育園

園長 松山 圭一郎



昨年、初めて開催しました「いばらき民間保育園就活応援セミナー」ですが、本年度も県内外保育士養成校、茨城県子ども家庭課、茨城労働局、茨城県社会福祉協議会、茨城県保育協議会の御協力を賜り、平成27年8月30日(日)に茨城県総合福祉会館にて開催することになりました。

本年度も学生・潜在保育士200名、参加園60園の規模にて昨年の反省を生かしながら、保育士を目指す学生や潜在保育士にとって「夢と自信」を与える場を提供し、更には「保育現場の更なる魅力」を発信致します。また、参加される園におかれましては各園の保育内容や職場環境をわかりやすく説明をして頂き、互いの相互関係を深めることで安心した就業・安定した雇用へ結びつけて頂ければと思います。

最後に私的な感覚ではありますが、新制度がスタートしてから保育士不足は県内でもさらに進んでおります。この少子化時代に「選ばれる園」となるためには優秀な人材獲得が不可欠です。個では株式会社や大規模法人にはアピールのノウハウ等で劣ってしまうかもしれませんが、我々が力を合せることで茨城にも素敵な園が沢山あるということを知ってもらえることができると思います。青年部一同、力を合せて開催に向けて準備を進めておりますので、引き続き皆様のご協力も宜しくお願い申し上げます。

研修報告

平成27年5月14日(木) 県民文化センター分館にて、民保協青年部全体会に引き続いて、研修会が開催されました。講師として、石川県より、平和こども園 園長 日吉 輝幸 先生(日保協青年部元部長)をお招きして「私の保育者論 ―語り継ぐべきこと」をご講題に、1時間半にわたって、ご講演を頂きました。最初淡々とした語り口で自己紹介にはじまり、徐々に先生の熱い思いがほとばしるような語り、部員一同私語をする者もなく、一心に聞き入っておりました。「知識は力なり、教育だけではなく、教養を身につけよ」、「広い視野を持ち、自発的に行動せよ」など、日吉先生の保育者論を思う存分聞かせていただくことができました。一番印象に残ったのは、保育園の後継者として育った先生にとっては「生まれた時からずっと保育環境」というくだりです。青年部員には二代目三代目として親の事業を引き継いでという意識の方も多いと思いますが、この「自分が育った環境が、保育環境」という特殊性を、子ども達にとって最も良い方向に活かしていかなければならないと日吉先生のお話を聞いて思いました。このような貴重な研修の機会を作ってくださった前部長の藤崎先生、どうもありがとうございました。(真壁保育園 長谷川 夏生)



(今回日吉先生をお招きして下さった藤崎先生に特別寄稿をお願いしました!)

平成9年に民保青年部に入部した私は、その半年後、東ヶ崎(前支部長)、渡辺(現支部長)両氏からのお声掛けにより日保青年部に入部し、『経営研究委員会』に所属しました。当時会の副委員長をされていた日吉氏と出会って以来、17年の時を経た現在も大変お世話になっていて、何時でも頼れる兄貴のような方です。日頃、日吉氏からは『保育者としての心得』、『保育の真髄』、『人としての生き様』そして『総てのシーンにおけるONとOFFの切替』等等を教えていただいております。先の講演時にみせていたとても真面目な印象とは裏腹に、お茶目でユーモア溢れる氏は、今回の演題について相談をさせて頂いた時にも開口一番、「僕と藤崎くん」で、どう?と即答され、私もさすがに「それだけのご勘弁を!」といったやりとりがありました。



日吉 輝幸 先生

とにかく、人の事を他人事とせず自分事と捉えて真剣に取り組んでくださる姿からは、氏の保育に対する熱い思いの一端をうかがい知ることができます。何はともあれ私にとって、今後もこれまでと変わらない“心の師匠”であることは揺るぎない事実であります。

茨城県民間保育協議会青年部 相談役 前部長
北浦こども園 藤崎 貴英

茨城県民間保育協議会青年部広報委員会

委員長	真壁保育園	長谷川 夏生	編集委員	大宮聖愛保育園	後藤 貴哉	勝田あすなろ保育園	大谷 美和子
副委員長	さしま保育園	中川 祐一		玉里保育園	戸田 晃良	旭保育園	浅倉 涼二
副委員長	つくば保育園	滝田 昌弘		とりのす保育園	藤枝 明人	串挽保育園	山崎 公誠
				ほうとく保育園	桜井 みな		